

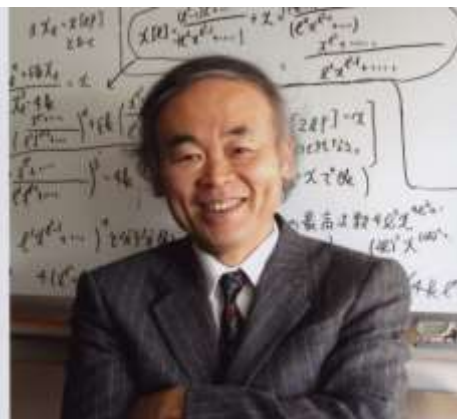
～藤原正彦氏による基調講演と大学講義が無料で受講できる～
サピアタワー「東京オトナ大学」11/24(月・祝)開催

株式会社ジェイアール東日本ビルディング(代表取締役社長 田邊滋)は、東京ステーションシティのサピアタワーにおいて、今年で4回目となる『東京オトナ大学』を11月24日に開催いたします。

100周年を迎えて新しく生まれ変わった東京駅を起点に「東京、そして日本のこれから」について藤原正彦氏に講演いただくほか、サピアタワーに入居している東京大学、東北大学、埼玉大学、関西大学、関西学院大学など9大学の教授が、経済学・農学・国際法学など様々な角度から「これからの日本」を考える講義を行います。

【実施概要】

- 名称:「東京オトナ大学」(とうきょうおとなだいがく)
- 日程:2014年11月24日(月) 13:00～18:00 (受付開始 12:00から)
- 会場:サピアタワー4階・5階「ステーションコンファレンス東京」
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12
- 主催:株式会社ジェイアール東日本ビルディング
- 協賛:東京大学 先端科学技術研究センター、東北大学、埼玉大学
関西大学、関西学院大学、甲南大学法科大学院、西南学院大学
立命館アジア太平洋大学(APU)、流通科学大学
- 協力:東日本旅客鉄道株式会社、東京ステーションシティ運営協議会
- 参加:無料、WEBサイト(<http://www.otonadaigaku.jp/>)での事前申込制(10月24日受付開始予定)
- 一般問い合わせ:東京オトナ大学事務局 TEL 03-6406-0762(平日 11:00～18:00)



基調講演 藤原 正彦氏



昨年講演風景

東京駅サピアタワー・知性と出会う

TOKYO STATION CITY Sunaiforum

東京オトナ大学
TOKYO OTONA UNIVERSITY

※「東京オトナ大学」は㈱ジェイアール東日本ビルディングの登録商標です。

※このリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブ、文部科学省記者会に同時配布しています。

■ 基調講演(15:00～16:00)

講演者	講演内容
藤原 正彦	東京、そして日本のこれから 急激な成長を遂げてきた東京、そして日本。その成長を支えてきた原動力とは何か、そしてこれから品格ある成長を遂げるにはどのような課題があるのかについて話したいと思います。

■ 講義(13:00～14:30／16:30～18:00)

13:00～14:30

講義者	講義内容
東北大学 農学研究科 教授 木島 明博 	「東日本大震災からの復興とこれからの漁業—豊かな海へ、科学の力で」 東日本大震災により世界三大漁場である三陸の海は大きく変化し、漁業、増養殖業に壊滅的被害をもたらしました。この復興のために必要不可欠な海洋環境の変化の実態を科学的に明らかにし、それに応じた漁業の復興を目指した東北マリンサイエンス拠点形成事業について解りやすく解説します。
関西大学 政策創造学部 教授 白石 真澄 	少子化を克服するために 少子化社会へと突き進む日本。社会保障制度の維持や労働力確保の観点から少子化はなんとしてでも食い止めなければならない課題である。しかしこれまで少子化に対する政策効果は見えておらず大幅な予算確保も困難である。本講義では諸外国のケースを紹介しつつ日本に求められる少子化対策を考える。
立命館アジア太平洋大学 Associate Professor KIM Rebecca Chung-hee 	How to prepare for Asia's CSR leadership In the wake of globalization and social change, there is a growing interest in CSR (Corporate Social Responsibility) within Asian society. However, its disclosure is less well understood. The lecture will offer critical views on Asian CSR by challenging the established CSR ideas from the West, and then provide suggestions on how the unique Asian version of CSR can perform leadership towards the global society. ※全編英語での講義となります。
西南学院大学 法学部国際関係法学科 教授 野田 順康 	日本は生き残れるか？ 日本政府は1990年の第1次湾岸危機以降、大きく舵を切って、自衛隊の海外派遣など国際的危機管理への人的貢献を進め、遂には集団的自衛権の行使を閣議決定した。国内的にも侵略に対応する法整備の充実を図っている。これは日米基軸によるパワーポリティクスに依拠した政策と言える。一方、ハンチントン氏は日本文明が中華文明に吸収される可能性が高いと予測している。本講義では日本がどうなっていくのか、行くべきかをひも解くことにする。講師は、国連人間居住計画アジア太平洋本部長、国土交通省総合計画課長等を経て現職。
東京大学 教授 (先端科学技術研究センター)、知的財産法 玉井 克哉 	産業スパイ大作戦——「知らなかった」ではすまされない法律のおはなし—— 「営業秘密」の侵害が話題になることが多くなっています。表面化した事件だけでも、新日鐵住金が韓国ポスコに対して約900億円を請求し、東芝がやはり韓国ハイニックスに約1000億円を請求しています。しかし米国では状況が一步進んでおり、1996年にできた「経済スパイ法」によって、刑事罰を科す事例が増えています。その実態をご紹介するとともに、日本企業が陥りがちな罠を指摘し、日本経済の将来について考えます。

16:30～18:00

講義者	講義内容
<p>流通科学大学 副学長 総合政策学部 教授 福井 誠</p> 	<p>主体的な学びについて考える</p> <p>大学教育は変化の途上にあります。そのキーワードの一つが「主体的な学び」です。では、学生の中で、いつ、どのようなきっかけで、与えられたテーマが主体的な学びに変わるのでしょうか。20年前、阪神大震災を経験した神戸の大学に在籍していても、今の学生には震災の記憶がありません。4年前に神戸ではじめたスマートフォンの観光案内で社会との接点をもった学生が、活動を通して知り合った神戸の人たちとの交流を通じて阪神淡路大震災を再認識し、その後の東日本大震災を契機に復興支援に取り組みははじめました。この活動は初期の学生が卒業したあとも自主的に継承され、現在も形を変えながら継続しています。私が学生と経験してきたこの4年間を振り返りながら、主体的な学びとはなにか、について考えてみたいと思います。</p>
<p>関西学院大学 国際学部 教授 鷲尾 友春</p> 	<p>「激変する世界と日本の立ち位置」</p> <p>2014年、世界の政治・安全保障体制は、文字通り、激震を経験している。東欧ではウクライナを巡ってロシアと米欧が対立を深め、中東ではイスラム原理主義勢力が、イラク・シリア国境を跨ぐ宗教国家を創ろうとする。その合間で、パレスチナとイスラエルが戦闘行動を繰り返し、アジアでは中国が太平洋や南シナ海で各国と領土・領海紛争を激化させている。また、安全保障とは関係ないように見えるが、アフリカではエボラ出血熱が蔓延し、先進諸国がこぞって対応しようと躍起の努力を続けている。要は、毎日毎日、常に悪いことが起こっている。何故この様なことになったのか、その激変の震源を、ここで皆さんと一緒に考え直してみたい。</p>
<p>埼玉大学 経済学部 教授 加藤 秀雄</p> 	<p>これからの日本の産業と中小企業</p> <p>いつの頃からか日本経済をリードする産業が、海外で果敢に活動するようになりました。自動車産業とか電機産業がその代表例です。それら産業のものづくりを支えている中小企業も、海外に発展の場を求めようと挑戦し続けています。また、それら産業の生産機械を製造している産業も、海外需要に依存するという時代を迎えています。いったい日本の産業と中小企業は、どこに向かい、どのような課題を抱えているのでしょうか。本講義では、これからの日本の産業と中小企業の発展課題について、事例を通じてお話しいたします。</p>
<p>甲南大学 法科大学院長 渡辺 顕修</p> 	<p>市民の作る未来の刑事裁判－裁判員裁判を考える</p> <p>21世紀になり、市民が参加する裁判員裁判がはじまった。検察官が決めていた、犯罪を起訴するかどうかについても、市民が主人公となる。検察審査会が起訴を強制できることとなった。「市民主義」の時代がはじまった。市民の作る正義の「かたち」は安定するかどうか、一緒に考えてみよう。</p>

※本リリース記載事項は、2014年10月8日時点のもので、変更になる場合がございます。

参考 サピアタワーとは

サピアタワーは、東京駅を一つの大きな街ととらえ、駅が都市を変える・都市が駅になるというコンセプトのもと、JR 東日本が進める開発「東京ステーションシティ」のプロジェクト第一弾として 2007 年に竣工しました。

「サピア」は、sapience(知恵)に場所を表す接尾語(-ia)を付した造語であり、知の情報発信拠点であることを表現しています。オフィス部分には企業その他、大学がオフィスやキャンパスを構え、ビル内にホテル、コンファレンス、店舗を備えており、高度で実用的な情報を発信するに相応しい構成となっています。



物件名称: サピアタワー

所在地: 東京都千代田区丸の内 1-7-12

JR 東京駅日本橋口直結、東京メトロ大手町駅 B7 出口直結

階数: 地上 35 階 地下 4 階

竣工: 2007 年 3 月

用途: オフィス、コンファレンス、ホテル、店舗

フロア構成

27～34 階	ホテルメトロポリタン丸の内
8～26 階	オフィス 【協賛大学】 10 階: 関西学院大学、甲南大学、東北大学、西南学院大学 9 階: 関西大学、流通科学大学、埼玉大学 8 階: 東京大学、立命館アジア太平洋大学
7 階	クリニック
4～6 階	ステーションコンファレンス東京
1・3 階	店舗